

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成20年度事業分)

施設名	小瀬スポーツ公園					
指定管理者	(財)山梨県体育協会	所管課	都市計画課			
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日					
施設の使命・役割(運営目標)	以下にあげる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮すること ・良好な緑地景観、環境を提供すること ・スポーツの場を提供すること 主催事業の実施を通じて、スポーツに親しむ機会を提供すること					
指定管理者が行う業務	施設・備品の管理運営業務 スポーツ振興業務 施設(緑地を含む)・設備の維持管理業務 県が実施する大会等への協力					
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価 概ね業務計画書以上の管理を実施した。施設の老朽化に伴う劣化及び不具合箇所の早期発見・修繕を行うとともに、整った公園環境や高レベルな機能を提供できるスポーツ施設を維持するため、適切な保守・点検や植栽管理を計画以上に実施することにより、来園者・施設利用者に安全で快適な環境を提供できたと考えられる。経年劣化等により頻発に発生する施設・設備等の修繕においては、可能な限り迅速に対応し安全確保を第一に利便性を低下させることのないよう実施した。ヴァンフォーレ甲府のホームスタジアムとして多くの県民が訪れる陸上競技場は、Jリーグの基準を維持するとともにピッチは刈り込み回数を大幅に増やすなどの取り組みによりシーズンを通してマッチコミショナーから良好との評価を得た。	施設所管課の評価・指導内容 全体的に、適切な維持管理が行われている。施設の供用開始から20年以上が経過しており、各所が老朽化しているため、不具合箇所の早期の発見及び修繕に努め、適切な維持管理を行うこと。				
運営業務の評価	指定管理者の自己評価 多くの県民に親しまれる憩いの場として、また県内で最も充実した複合スポーツ施設としてその機能を十分に発揮できるよう取り組んだ。維持管理業務に対する利用者満足度調査においても全ての項目で高評価を得ることができたことから概ね順調に業務が遂行できたものとする。引き続き多くの県民により親しまれる公園を目指し諸事業に取り組んで行く。	施設所管課の評価・指導内容 適切な運営が行われていると評価できる。施設利用の促進に向けて、積極的な広報活動が行われるとともに、各種のイベントが多く開催され、積極的な利用促進が図られていた。絵画写真展等、引き続き公園の利用者が増加する企画を行うよう指導を行った。				
自主事業の評価	指定管理者の自己評価 業務計画書どおり実施した。自動販売機の設置や臨時売店、レストラン等飲食事業を実施するなど、来園者のサービス向上に努めた。プロ野球の誘致、各種イベントやスポーツ教室の実施により、県民の皆様を観るスポーツやスポーツへの参加の機会を提供できたものとする。	施設所管課の評価・指導内容 指定管理者の努力により様々な催しが企画され実施されている。次年度以降も引き続き事業の企画・実施を継続して行うよう指導を行った。				
利用者満足度調査	調査結果	満足度 総合的な満足度 = 満足/全体 = 67% 良好な緑地景観、環境を提供すること 満足65%、普通34%、不満足1% 遊び、憩いの場を提供すること 満足54%、普通42%、不満足4% スポーツの場を提供すること(意見記述) 満足84%、普通15%、不満足1% 主催事業を通じて、スポーツに親しむ機会を提供すること 満足84%、普通15%、不満足1% サービスの提供 満足54%、普通42%、不満足4% イベント 満足62%、普通36%、不満足2% 教室 満足90%、普通10%、不満足0% レストラン 満足63%、普通31%、不満足6%				
	評価	指定管理者の自己評価 約70%の方から満足との評価をいただいた。今後もこの評価を向上させるよう各項目において最大限の取り組みを行っていく。個別要望の内、施設改善については、県との協議のなかで進めていきたい。				
利用実績	利用者数	H19年度実績(人) 1,613,830 公園利用者数 591,927 有料施設利用者数 (1,005,502)	H20年度計画(人) 1,555,000 565,000 (1,006,000)			
	評価	指定管理者の自己評価 フェスタ小瀬の後を引き継ぐイベントであるバスルスポーツの企画も3年目を迎え、前回同様2万人以上のお客さまが来園した。また園内の桜の開花に合わせ「桜まつり」の企画として夜桜のライトアップを実施し、前年より8千人程多い13万6千人のお客さまが来園した。よりスポーツ公園にふさわしいイベントの実施に取り組み多数の方々に来園いただいたと考えている。				
収支の状況	科目	H20年度計画額(円)	H20年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H21年度計画額(円)	
	収入	利用料金収入	112,086,000	120,055,000	-7,969,000	114,205,000
		指定管理料	459,048,000	459,048,000	0	443,562,000
		その他収入	7,899,000	21,012,000	-13,113,000	9,672,000
	計	579,033,000	600,115,000	-21,082,000	567,439,000	
	支出	579,033,000	569,719,000	9,314,000	567,439,000	
差し引き(収入-支出)	0	30,396,000		0		
評価	指定管理者の自己評価 収入は、広報や自主事業に取り組んだ結果、利用収入は事業計画を大幅に上回り過去最高額となった。支出については、人件費の削減や管理業務の複数年契約等により、適正な管理を実施する中で経費の削減に努めた。収支差については、施設の改修や充実、県民のスポーツ振興、競技力向上に寄与する事業に充てて行く予定である。	施設所管課の評価 指定管理者の広報等の努力により、有料公園施設の利用料金収入が増加している。一方、支出についても、日々の節約の努力により計画額より減となっている。施設を更に有効活用し利用者を増加させ、日々の節約を図るよう指導した。収支差額については、利用者の満足度が上がるよう、施設の整備等を行ってほしい。				
施設の運営目標の達成状況	平成18年度から引き続き、利用時間の延長、無休営業の実施等、利用者の便宜を図ることにより来園者や利用者の増加、利用収入の増加により目標を達成できた。これは、利用者のニーズにあった施設運営が評価されたものとする。また、スポーツの場の提供に関しては、利用者・来園者にとって安全で快適にスポーツが行え利用しやすい環境を提供したため、利用者数は増加し、目標を達成できた。スポーツへの参加機会の提供についても、スポーツ振興事業(スポーツ振興事業・自主事業)における各種スポーツ教室やイベント等を実施する中で多くの方に参加をいただいたことは、小瀬スポーツ公園を利用してスポーツに親しむ機会を提供できたものとする。また、災害時の対応についてAED講習会の受講や職員研修を行うなど緊急時に備えた。					
総合的な評価及び改善事項	園内は、清潔に保たれており、施設の安全管理や災害時の備えが適切に行われていた。また、本公園の主目的でもあるスポーツ振興業務、スポーツ講習会開催業務も計画的に行われており、管理運営は効果的・効率的であった。良好な管理が行われているので、今後も管理・運営の質の向上に努めること。					